

Ⅱ 調査結果の概要

[学校調査]

1 大 学

(1) 学 校 数 (表1)

学校数は778校(国立86校, 公立95校, 私立597校。通信教育のみを行う学校(私立6校)を除く。)で, 前年度より5校増加している。

表1 大学の設置者別学校数

区 分	計	国立	公立	私立	私立の割合
	校	校	校	校	%
平成12	649	99	72	478	73.7
17	726	87	86	553	76.2
18	744	87	89	568	76.3
19	756	87	89	580	76.7
20	765	86	90	589	77.0
21	773	86	92	595	77.0
22	778	86	95	597	76.7

(2) 学 生 数 (表2)

学生数は, 288万7千人(男子170万2千人, 女子118万6千人), 前年度より4万1千人増加している。

また, 学生数のうち学部学生は255万9千人, 大学院学生は27万1千人〔修士課程〔修士課程及び博士前期課程(医・歯学及び獣医学を除く一貫制博士課程を含む。)以下同じ。〕17万4千人, 博士課程〔博士後期課程(医・歯学及び獣医学の博士課程を含む。)以下同じ。〕7万4千人, 専門職学位課程*2万3千人〕, 専攻科・別科等の学生は5万7千人となっている。

*平成15年4月創設の高度専門職業人の養成を目的とする専門職大学院の課程

① 学生数を設置者別にみると, 国立62万5千人(学生数の21.6%), 公立14万3千人(同4.9%), 私立212万人(同73.4%)となっている。

②女子学生の占める割合は41.1%で, 前年度より0.4ポイント上昇している。

表2 学生数(大学)

区 分	計	うち学部			うち女子	社会人 a	女子の占 める比率	国 立	公 立	私 立
		うち学部	うち大学 院 a	うち社会人						
	人	人	人	人	人	%	%	人	人	人
平成12	2,740,023	2,471,755	205,311	24,897	992,312	12.1	36.2	624,082	107,198	2,008,743
17	2,865,051	2,508,088	254,480	45,194	1,124,900	17.8	39.3	627,850	124,910	2,112,291
18	2,859,212	2,504,885	261,049	48,609	1,127,474	18.6	39.4	628,947	127,872	2,102,393
19	2,828,708	2,514,228	262,113	51,142	1,126,751	19.5	39.8	627,402	129,592	2,071,714
20	2,836,127	2,520,593	262,687	53,667	1,140,755	20.4	40.2	623,811	131,970	2,080,346
21	2,845,908	2,527,319	263,989	54,642	1,158,390	20.7	40.7	621,800	136,913	2,087,195
22	2,887,396	2,559,181	271,464	55,348	1,185,574	20.4	41.1	625,026	142,568	2,119,802

(3) 関係学科別学部学生の構成 (表3, 図1)

学部学生の関係学科別構成比をみると、「社会科学」が34.9%で最も高く、次いで「工学」(15.7%),「人文科学」(15.2%)等の順となっている。

さらに、その年次推移をみると、「家政」、「教育」、「薬学」の比率は年々上昇してきているが、「社会科学」、「工学」、「人文科学」の比率が低下している。

(4) 専攻分野別大学院学生の構成

(表3, 図1, 図2)

大学院修士課程の専攻分野別構成比をみると、「工学」が41.5%で最も高く、次いで「社会科学」(11.1%),「理学」(8.2%)等の順となっている。

さらに、その年次推移をみると、「工学」の比率は年々上昇してきているが、「社会科学」の比率は低下してきている。

大学院博士課程の専攻分野別構成比をみると、「医・歯学」が27.3%で最も高く、次いで「工学」(18.6%),「人文科学」(9.5%)等の順となっている。

さらに、その年次推移をみると、「教育」の比率は年々上昇してきているが、「人文科学」、「社会科学」、「理学」、「農学」の比率が低下している。

大学院専門職学位課程の専攻分野別構成比をみると、「社会科学」が84.7%で最も高く、次いで「教育」(7.2%)の順となっている。

また、大学院学生のうち、「社会人」(平成22年5月1日において職に就いている者。ただし、企業等を退職した者及び主婦等を含む。)は修士課程では2万人(男子1万人,女子1万人)で、学生数に占める割合は11.6%,博士課程では2万6千人(男子1万8千人,女子8千人)で、学生数に占める割合は34.5%,専門職学位課程では9千人(男子7千人,女子2千人)で、学生数に占める割合は40.8%となっている。これを各専攻分野ごとに「社会人」の占める割合をみると、修士課程では「社会科学」が34.5%で最も高く、次いで「教育」(27.0%)となっており、博士課程では「医・歯学」が50.1%で最も高くなっており、専門職学位課程では「工学」が(65.1%)で最も高く、次いで「医・歯学」(61.0%)となっている。

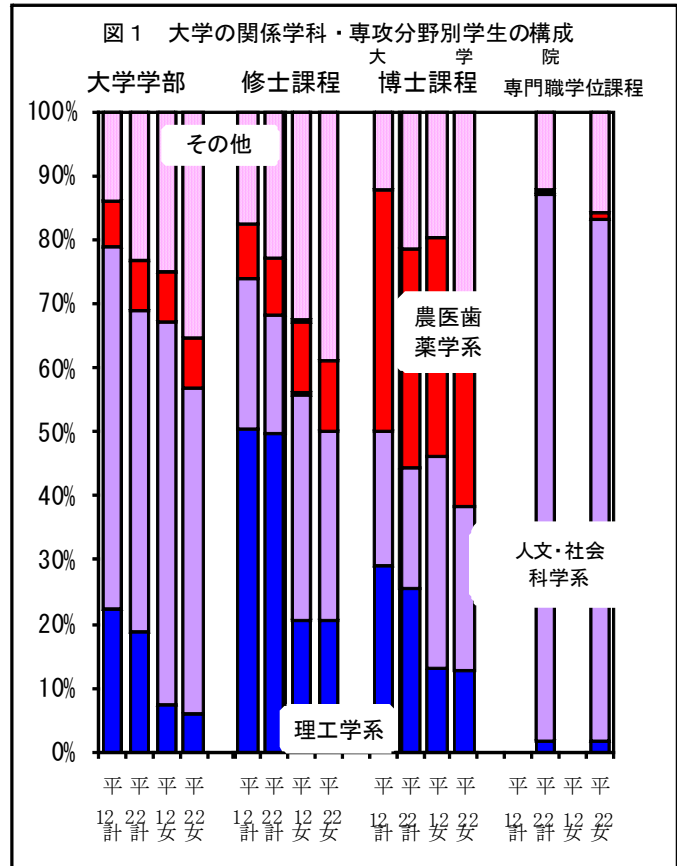


表3 関係学科・専攻分野別学生数の比率の推移 (大学・大学院)

(1) 学部学生

区分	関係学科別学生の構成比										
	計	人文科学	社会科学	理学	工学	農学	医・歯学	薬学	家政	教育	その他
	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成12	100.0	16.6	39.9	3.6	18.9	2.8	2.6	1.5	1.8	5.6	6.7
17	100.0	16.2	37.7	3.5	17.3	2.8	2.5	1.8	2.4	5.7	10.1
18	100.0	16.0	37.0	3.4	17.0	2.9	2.5	2.0	2.5	5.8	10.9
19	100.0	15.8	36.3	3.4	16.7	2.9	2.5	2.1	2.6	5.9	11.8
20	100.0	15.6	35.8	3.3	16.3	3.0	2.5	2.2	2.6	6.1	12.6
21	100.0	15.4	35.3	3.2	16.0	3.0	2.5	2.1	2.6	6.3	13.6
22	100.0	15.2	34.9	3.2	15.7	3.0	2.5	2.4	2.7	6.5	13.9

(2) 大学院修士課程

区分	専攻分野別学生の構成比										
	計	人文科学	社会科学	理学	工学	農学	医・歯学	薬学	家政	教育	その他
	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成12	100.0	8.6	15.0	9.0	41.4	5.5	0.3	2.7	0.7	7.6	9.2
17	100.0	8.2	12.5	8.5	39.9	5.1	0.9	3.2	0.6	7.0	14.1
18	100.0	8.1	12.1	8.5	39.4	5.2	1.0	3.1	0.7	7.2	14.7
19	100.0	7.8	11.6	8.4	39.4	5.5	1.0	3.1	0.6	7.3	15.3
20	100.0	7.8	11.3	8.3	39.5	5.5	1.1	3.2	0.6	6.9	15.8
21	100.0	7.5	11.2	8.2	39.8	5.5	1.1	3.3	0.6	6.5	16.3
22	100.0	7.4	11.1	8.2	41.5	5.5	1.0	2.3	0.6	6.2	16.2

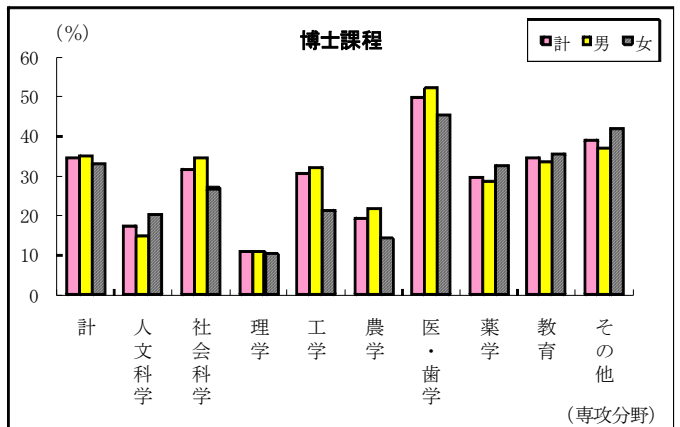
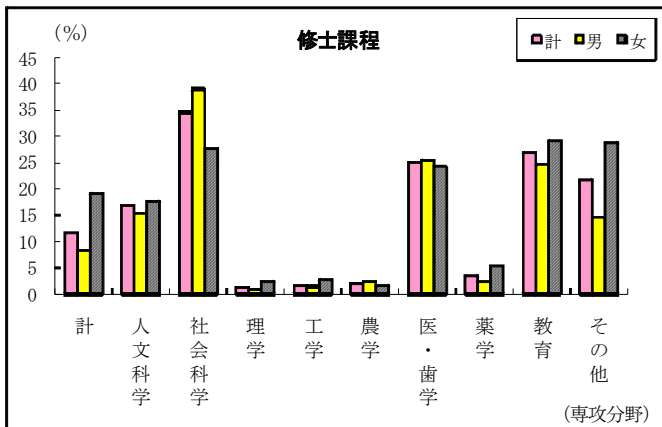
(3) 大学院博士課程

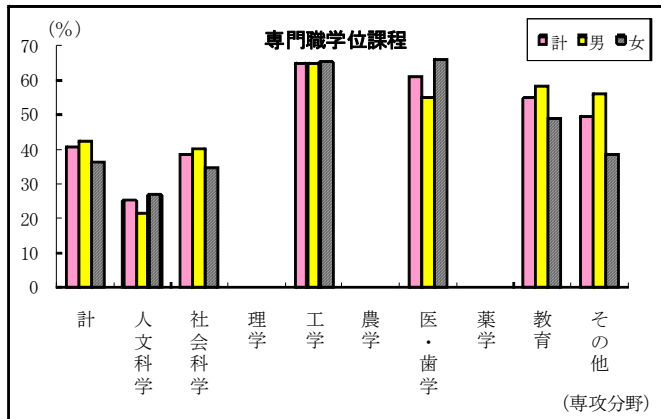
区分	専攻分野別学生の構成比										
	計	人文科学	社会科学	理学	工学	農学	医・歯学	薬学	家政	教育	その他
	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成12	100.0	11.0	9.9	10.3	18.9	6.7	29.2	1.6	0.3	2.5	9.6
17	100.0	10.2	10.1	8.6	18.6	5.8	26.9	1.8	0.5	2.5	15.0
18	100.0	10.2	10.0	8.3	18.5	5.8	26.4	1.8	0.5	2.5	16.0
19	100.0	10.3	10.0	7.7	18.6	5.7	26.3	1.9	0.5	2.6	16.4
20	100.0	10.1	9.9	7.2	18.5	5.5	26.7	1.8	0.5	2.7	17.1
21	100.0	9.9	9.7	7.0	18.4	5.4	26.8	1.8	0.5	2.9	17.6
22	100.0	9.5	9.4	6.9	18.6	5.2	27.3	1.8	0.5	2.9	17.9

(4) 大学院専門職学位課程

区分	専攻分野別学生の構成比										
	計	人文科学	社会科学	理学	工学	農学	医・歯学	薬学	家政	教育	その他
	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成12
17	100.0	0.2	95.5	—	0.2	—	0.4	—	—	—	3.7
18	100.0	0.3	94.8	—	0.5	—	0.3	—	—	0.2	3.9
19	100.0	0.5	93.9	—	0.8	—	0.5	—	—	0.3	4.1
20	100.0	0.7	90.7	—	1.0	—	0.6	—	—	3.1	3.9
21	100.0	0.9	86.9	—	1.3	—	0.5	—	—	5.9	4.5
22	100.0	1.1	84.7	—	1.5	—	0.5	—	—	7.2	5.0

図2 専攻分野別社会人大大学院学生の構成比





(5) 入学状況 (表4, 表5)

ア. 大学(学部)への入学状況

大学学部への入学者数は、61万9千人(国立10万1千人, 公立2万9千人, 私立48万9千人)で、前年度より1万人増加している。

- ① 入学者の「出身高校の所在地県」と「入学した大学の所在地県」との関係を見ると、大学(学部)の入学者のうち、「自県(出身高等学校と同一県)内の大学へ入学した者の比率」は42.0%(前年度より0.5ポイント上昇)となっている。
- ② これを男女別にみると、男子は40.3%(前年度より0.5ポイント上昇)、女子は44.2%(前年度より0.5ポイント上昇)となっている。

イ. 大学院への入学状況

大学院への入学者数は、修士課程では8万2千人(男子5万9千人, 女子2万3千人)で前年度より4千人増加しており、博士課程では1万6千人(男子1万1千人, 女子5千人)で前年度より6百人増加、専門職学位課程では9千人(男子6千人, 女子3千人)で前年度より3百人減少している。

修士課程の入学者数を年齢別に見ると、「22歳」が4万2千人(51.6%)で最も高く、次いで「23歳」1万9千人(22.8%),「24歳」6千人(7.1%)等の順となっている。

また、修士課程の入学者のうち、「社会人」は8千人(9.6%),「留学生」は8千人(9.6%)である。

博士課程の入学者数を年齢別に見ると、「30～34歳」が3千2百人(19.4%)で最も高く、次いで「24歳」2千7百人(16.3%),「25歳」2千4百人(14.8%)等の順となっている。

また、博士課程の入学者のうち、「社会人」は5千4百人(32.7%),「留学生」は2千8百人(17.1%)である。

専門職学位課程の入学者数を年齢別に見ると、「22歳」が2千2百人(24.9%)で最も高く、次いで「23歳」1千5百人(17.2%),「30～34歳」1千1百人(12.2%)等の順となっている。

また、専門職学位課程の入学者のうち、「社会人」は3千6百人(40.6%),「留学生」は4百人(4.1%)である。

専門職学位課程のうち法科大学院の入学者を年齢別に見ると、「22歳」が1千3百人(30.6%)で最も高く、次いで「23歳」1千人(23.2%),「24歳」4百人(10.1%)等の順となっている。

また、教職大学院の入学者を年齢別に見ると、「22歳」が3百人(31.7%)で最も高く、次いで「40～44歳」1百人(18.3%),「35～39歳」1百人(13.8%)等の順となっており、入学者のうち「社会人」が52.4%を占めている。

表4 入学状況（大学，大学院）

区分	学部入学状況								大学院入学者数							
	入学者数				自県内入学率				修士課程		博士課程		専門職学位課程			
	計	国立	公立	私立	計	男	女	計	うち社会人	計	うち社会人	計	うち社会人	うち法科大学院	うち教職大学院	
平成12	599,655	103,054	23,578	473,023	38.8	37.3	41.2	70,336	7,264	17,023	
17	603,760	104,130	26,050	473,580	40.1	38.6	42.2	77,557	7,957	17,553	4,709	5,969	3,044	3,516	...	
18	603,054	104,027	26,935	472,092	40.8	39.3	42.9	77,851	8,161	17,131	5,257	8,899	3,542	5,776	...	
19	613,613	102,455	26,967	484,191	41.0	39.4	43.2	77,451	8,470	16,926	5,417	9,059	3,328	5,709	...	
20	607,159	102,345	27,461	477,353	41.2	39.6	43.3	77,396	8,249	16,271	5,552	9,468	3,794	5,393	641	
21	608,731	101,847	28,414	478,470	41.5	39.8	43.7	78,119	8,192	15,901	5,314	9,247	3,794	4,843	747	
22	619,073	101,306	29,107	488,660	42.0	40.3	44.2	82,336	7,934	16,472	5,384	8,931	3,626	4,121	805	

表5 大学院の年齢別入学状況

(1) 修士課程

区分	計	21歳以下	22歳	23歳	24歳	25歳	26歳	27歳	28歳	29歳	30歳～34歳	35歳～39歳	40歳～44歳	45歳～49歳	50歳～54歳	55歳～60歳	61歳以上	計のうち	
																		社会人	留学生
計	82,336 (100.0)	220 (0.3)	42,497 (51.6)	18,794 (22.8)	5,864 (7.1)	2,809 (3.4)	1,849 (2.2)	1,334 (1.6)	1,014 (1.2)	755 (0.9)	2,470 (3.0)	1,529 (1.9)	1,123 (1.4)	791 (1.0)	525 (0.6)	449 (0.5)	313 (0.4)	7,934 (9.6)	7,901 (9.6)
男	58,951 (100.0)	123 (0.2)	32,638 (55.4)	14,155 (24.0)	4,058 (6.9)	1,694 (2.9)	1,025 (1.7)	738 (1.3)	553 (0.9)	414 (0.7)	1,342 (2.3)	794 (1.3)	477 (0.8)	293 (0.5)	204 (0.3)	233 (0.4)	210 (0.4)	4,023 (6.8)	3,640 (6.2)
女	23,385 (100.0)	97 (0.4)	9,859 (42.2)	4,639 (19.8)	1,806 (7.7)	1,115 (4.8)	824 (3.5)	596 (2.5)	461 (2.0)	341 (1.5)	1,128 (4.8)	735 (3.1)	646 (2.8)	498 (2.1)	321 (1.4)	216 (0.9)	103 (0.4)	3,911 (16.7)	4,261 (18.2)

(2) 博士課程

区分	計	21歳以下	22歳	23歳	24歳	25歳	26歳	27歳	28歳	29歳	30歳～34歳	35歳～39歳	40歳～44歳	45歳～49歳	50歳～54歳	55歳～60歳	61歳以上	計のうち	
																		社会人	留学生
計	16,472 (100.0)	- (-)	8 (0.0)	123 (0.7)	2,686 (16.3)	2,439 (14.8)	1,636 (9.9)	1,241 (7.5)	1,026 (6.2)	952 (5.8)	3,193 (19.4)	1,267 (7.7)	677 (4.1)	527 (3.2)	349 (2.1)	205 (1.2)	143 (0.9)	5,384 (32.7)	2,820 (17.1)
男	11,239 (100.0)	- (-)	6 (0.1)	98 (0.9)	2,010 (17.9)	1,740 (15.5)	1,098 (9.8)	804 (7.2)	659 (5.9)	657 (5.8)	2,211 (19.7)	822 (7.3)	417 (3.7)	292 (2.6)	198 (1.8)	129 (1.1)	98 (0.9)	3,642 (32.4)	1,523 (13.6)
女	5,233 (100.0)	- (-)	2 (0.0)	25 (0.5)	676 (12.9)	699 (13.4)	538 (10.3)	437 (8.4)	367 (7.0)	295 (5.6)	982 (18.8)	445 (8.5)	260 (5.0)	235 (4.5)	151 (2.9)	76 (1.5)	45 (0.9)	1,742 (33.3)	1,297 (24.8)

(3) 専門職学位課程

区分	計	21歳以下	22歳	23歳	24歳	25歳	26歳	27歳	28歳	29歳	30歳～34歳	35歳～39歳	40歳～44歳	45歳～49歳	50歳～54歳	55歳～60歳	61歳以上	計のうち	
																		社会人	留学生
計	8,931 (100.0)	97 (1.1)	2,225 (24.9)	1,536 (17.2)	653 (7.3)	406 (4.5)	291 (3.3)	247 (2.8)	218 (2.4)	226 (2.5)	1,093 (12.2)	831 (9.3)	542 (6.1)	320 (3.6)	135 (1.5)	85 (1.0)	26 (0.3)	3,626 (40.6)	368 (4.1)
男	6,411 (100.0)	55 (0.9)	1,496 (23.3)	1,068 (16.7)	470 (7.3)	302 (4.7)	210 (3.3)	176 (2.7)	163 (2.5)	177 (2.8)	849 (13.2)	658 (10.3)	387 (6.0)	212 (3.3)	99 (1.5)	69 (1.1)	20 (0.3)	2,687 (41.9)	179 (2.8)
女	2,520 (100.0)	42 (1.7)	729 (28.9)	468 (18.6)	183 (7.3)	104 (4.1)	81 (3.2)	71 (2.8)	55 (2.2)	49 (1.9)	244 (9.7)	173 (6.9)	155 (6.2)	108 (4.3)	36 (1.4)	16 (0.6)	6 (0.2)	939 (37.3)	189 (7.5)

(再掲) 法科大学院

計	4,121 (100.0)	47 (1.1)	1,259 (30.6)	957 (23.2)	417 (10.1)	244 (5.9)	141 (3.4)	101 (2.5)	82 (2.0)	78 (1.9)	383 (9.3)	182 (4.4)	94 (2.3)	61 (1.5)	43 (1.0)	27 (0.7)	5 (0.1)	910 (22.1)	7 (0.2)
男	2,984 (100.0)	30 (1.0)	853 (28.6)	681 (22.8)	316 (10.6)	198 (6.6)	105 (3.5)	76 (2.5)	68 (2.3)	64 (2.1)	296 (9.9)	129 (4.3)	68 (2.3)	39 (1.3)	35 (1.2)	21 (0.7)	5 (0.2)	662 (22.2)	3 (0.1)
女	1,137 (100.0)	17 (1.5)	406 (35.7)	276 (24.3)	101 (8.9)	46 (4.0)	36 (3.2)	25 (2.2)	14 (1.2)	14 (1.2)	87 (7.7)	53 (4.7)	26 (2.3)	22 (1.9)	8 (0.7)	6 (0.5)	- (-)	248 (21.8)	4 (0.4)

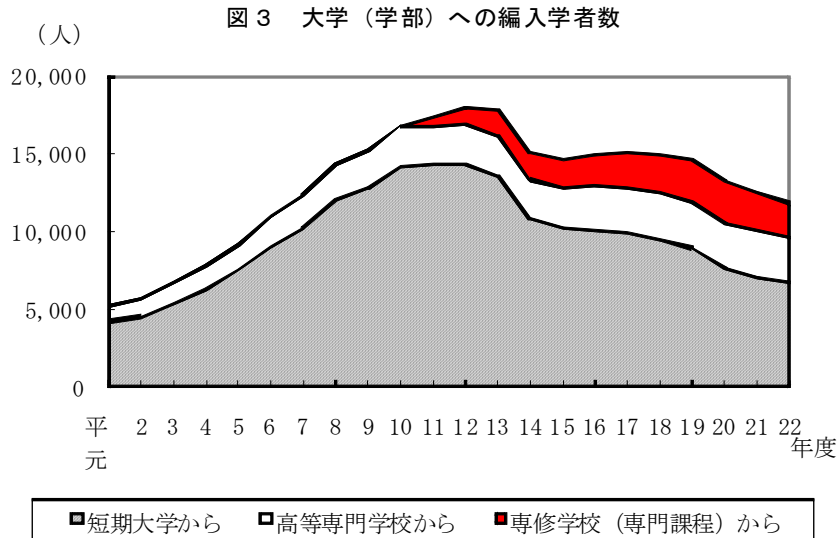
教職大学院

計	805 (100.0)	- (-)	255 (31.7)	97 (12.0)	28 (3.5)	8 (1.0)	7 (0.9)	7 (0.9)	6 (0.7)	6 (0.7)	54 (6.7)	111 (13.8)	147 (18.3)	64 (8.0)	11 (1.4)	4 (0.5)	- (-)	422 (52.4)	- (-)
男	482 (100.0)	- (-)	142 (29.5)	51 (10.6)	19 (3.9)	4 (0.8)	5 (1.0)	2 (0.4)	3 (0.6)	3 (0.6)	38 (7.9)	84 (17.4)	91 (18.9)	35 (7.3)	3 (0.6)	2 (0.4)	- (-)	271 (56.2)	- (-)
女	323 (100.0)	- (-)	113 (35.0)	46 (14.2)	9 (2.8)	4 (1.2)	2 (0.6)	5 (1.5)	3 (0.9)	3 (0.9)	16 (5.0)	27 (8.4)	56 (17.3)	29 (9.0)	8 (2.5)	2 (0.6)	- (-)	151 (46.7)	- (-)

(注) 1. 平成22年5月1日現在の年齢である。
2. (3) 専門職学位課程の入学者数には法科大学院の既修コースへの入学者を含む。

(6) 大学への編入学者数 (図3)

大学(学部)への編入学者数は、短期大学からの編入学者が6千7百人(男子1千9百人, 女子4千8百人), 高等専門学校からは2千9百人(男子2千6百人, 女子3百人), 専修学校(専門課程)からは2千2百人(男子1千人, 女子1千2百人)で前年度より4百人減少している。



(7) 教員数 (表6)

教員数は、本務者が17万4千人(国立6万2千人, 公立1万3千人, 私立10万人)で、前年度より2千人増加している。また、兼務者は18万5千人(国立3万8千人, 公立1万4千人, 私立13万3千人)で、前年度より5千人増加している。

表6 本務教員数 (大学)

区分	計			国立	公立	私立	女子教員の比率
	男	女	人				
平成12	150,563	130,249	20,314	60,673	10,513	79,377	13.5
17	161,690	134,740	26,950	60,937	11,426	89,327	16.7
18	164,473	135,876	28,597	60,712	11,743	92,018	17.4
19	167,636	137,113	30,523	60,991	11,786	94,859	18.2
20	169,914	137,861	32,052	61,019	12,073	96,822	18.9
21	172,039	138,509	33,530	61,246	12,402	98,391	19.5
22	174,280	139,246	35,034	61,690	12,650	99,940	20.1

2 短期大学

(1) 学校数 (表7)

学校数は、395校（公立26校，私立369校。通信教育のみを行う学校（私立1校）を除く。）で、前年度より11校減少している。

表7 短期大学の設置者別学校数

区分	計	国立	公立	私立	私立の割合
	校	校	校	校	%
平成12	572	20	55	497	86.9
17	488	10	42	436	89.3
18	468	8	40	420	89.7
19	434	2	34	398	91.7
20	417	2	29	386	92.6
21	406	2	26	378	93.1
22	395	-	26	369	93.4

(2) 学生数 (表8)

学生数は、15万5千人（男子1万7千人，女子13万8千人）で、前年度より6千人減少している。また、学生数のうち本科学生は15万人，専攻科・別科等の学生は6千人となっている。

- ① 学生数を設置者別にみると、公立9千人（学生数の5.9%），私立14万6千人（同94.1%）となっている。
- ② 学生数のうち女子学生の占める比率は88.7%で、前年度より0.4ポイント減少している。

表8 学生数 (短期大学)

区分	計	うち本科	うち女子	女子の占める比率	設置者別		
					国立	公立	私立
	人	人	人	%	人	人	人
平成12	327,680	318,258	293,690	89.6	7,772	21,061	298,847
17	219,355	212,200	191,131	87.1	1,643	14,347	203,365
18	202,254	195,233	177,162	87.6	597	11,909	189,748
19	186,667	179,958	164,910	88.3	184	10,815	175,668
20	172,726	166,448	153,518	88.9	52	10,565	162,109
21	160,976	155,127	143,498	89.1	3	9,973	151,000
22	155,274	149,634	137,792	88.7	-	9,129	146,145

(3) 関係学科別学生の構成 (表9)

本科学生の関係学科別構成比をみると、「教育」が30.4%で最も高く，次いで「家政」（20.6%），「社会」（11.9%），「人文」（11.3%）等の順となっている。さらに，その年次推移をみると，「人文」の比率は年々低下してきている。

表9 関係学科別学生数の比率の推移（短期大学本科）

区 分	計	人文	社会	教養	工業	農業	保健	家政	教育	その他
	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成12	100.0	19.9	13.6	2.6	4.2	0.9	9.3	24.3	18.9	6.3
17	100.0	13.1	12.3	1.4	4.6	1.0	8.3	21.1	29.6	8.6
18	100.0	12.5	12.2	1.3	4.2	0.8	7.6	21.2	30.7	9.6
19	100.0	12.6	11.9	1.3	3.9	0.7	7.5	21.1	30.4	10.6
20	100.0	12.4	12.0	1.4	3.5	0.8	7.6	20.8	29.8	11.7
21	100.0	12.4	11.9	1.4	3.1	0.9	8.0	20.5	29.6	12.2
22	100.0	11.3	11.9	1.4	3.0	0.9	8.3	20.6	30.4	12.2

(4) 入学状況（表10）

本科への入学者数は7万2千人（公立4千人，私立6万8千人）で，前年度より1千人減少している。

① 入学者の「出身高校の所在地県」と「入学した短期大学の所在地県」との関係を見ると，本科の入学者のうち，「自県（出身高校と同一県）内の短期大学へ入学した者の比率」は65.1％で，前年度より1.1ポイント上昇している。

② これを男女別にみると，男子は57.4％（前年度より0.6ポイント上昇），女子は66.1％（前年度より1.3ポイント上昇）となっている。

表10 入学状況（短期大学本科）

区 分	入 学 者 数				自 県 内 入 学 率		
	計	国 立	公 立	私 立	計	男	女
	人	人	人	人	%	%	%
平成12	141,491	2,228	8,445	130,818	59.3	52.2	60.1
17	99,431	300	5,451	93,680	61.9	52.6	63.2
18	90,740	—	4,708	86,032	63.1	55.6	64.1
19	84,596	—	4,724	79,872	63.3	54.5	64.4
20	77,339	—	4,697	72,642	63.7	55.2	64.7
21	73,163	—	4,185	68,978	64.0	56.8	64.8
22	72,047	—	3,871	68,176	65.1	57.4	66.1

(5) 教員数（表11）

教員数は，本務者が9千7百人（公立7百人，私立9千人）で，前年度より5百人減少している。また，兼務者は2万2千人（公立1千3百人，私立2万4百人）で，前年度より1千2百人減少している。

表11 本務教員数（短期大学）

区 分	計			国立	公立	私立	女子教員 の比率
	男	女	人				
	人	人	人	人	人	人	%
平成12	16,752	9,413	7,339	713	1,863	14,176	43.8
17	11,960	6,392	5,568	244	1,209	10,507	46.6
18	11,278	5,915	5,363	74	1,031	10,173	47.6
19	11,022	5,682	5,340	—	941	10,081	48.4
20	10,521	5,381	5,140	—	803	9,718	48.9
21	10,128	5,124	5,004	—	716	9,412	49.4
22	9,657	4,833	4,824	—	692	8,965	50.0

3 高等専門学校（表12）

（1）学校数

学校数は、60校（国立51校、公立6校、私立3校）で前年度より4校減少している。

（2）学生数

学生数は、5万9千人（国立5万3千人、公立4千人、私立2千人）で前年度とほぼ同数となっている。
このうち女子学生（9千人）の占める比率は15.7%とほぼ同率となっている。

（3）入学者数

入学者数は、1万1千人（男子9千人、女子2千人）で前年度より3百人減少している。

（4）教員数

教員数は、本務者が4千2百人（男子3千9百人、女子3百人）で、前年度より2百人減少している。
また、兼務者は2千人（男子1千6百人、女子4百人）となっている。

表12 学校数、学生数等の推移（高等専門学校）

区分	学校数（校）				学生数（人）					入学者数（人）				教員数 （本務者） （人）	
	計	国立	公立	私立	計	うち女子	国立	公立	私立	計	うち女子	国立	公立		私立
平成12	62	54	5	3	56,714	10,624	49,897	4,556	2,261	11,225	2,167	9,886	936	403	4,459
17	63	55	5	3	59,160	9,835	52,210	4,594	2,356	11,345	1,814	10,053	849	443	4,469
18	64	55	6	3	59,380	9,612	52,587	4,493	2,300	11,330	1,824	10,120	767	443	4,471
19	64	55	6	3	59,386	9,370	52,833	4,349	2,204	11,112	1,764	10,142	567	403	4,453
20	64	55	6	3	59,446	9,285	53,162	4,162	2,122	11,288	1,817	10,112	754	422	4,432
21	64	55	6	3	59,386	9,306	53,355	4,028	2,003	11,280	1,885	10,132	777	371	4,400
22	60	51	6	3	59,384	9,344	53,447	4,030	1,907	10,937	1,821	9,821	783	333	4,236

（注）「学生数」には、本科の学生のほか専攻科及び聴講生・研究生等の学生を含む。

4 大学・大学院・短期大学の通信教育（表13）

（1）学校数

通信による教育を実施している学校は大学53校（うち大学と大学院の両方で通信教育を行う学校は17校）、短期大学11校で、前年度より大学は1校増加している。

（2）学生数

学生数は大学22万5千人（男子9万6千人、女子12万9千人）、大学院8千人（男子5千人、女子3千人）、短期大学2万人（男子5千人、女子1万4千人）で、前年度より大学は1千8百人、短期大学は1千6百人それぞれ減少し、大学院はほぼ同数となっている。

- ① 正規の課程の学生数は大学17万8千人（男子7万6千人、女子10万2千人）、大学院3千8百人（男子2千3百人、女子1千4百人）、短期大学1万8千人（男子5千人、女子1万3千人）で、前年度より大学は3千人、短期大学は1千6百人減少し、大学院はほぼ同数となっている。
- ② 正規の課程の学生の関係学科構成比をみると、大学では「社会科学」が25.5%で最も高く、次いで「教育」16.5%等の順となっている。また、大学院修士課程では「人文科学」が21.2%で最も高く、次いで「社会科学」19.4%の順、大学院博士課程では「人文科学」が21.3%で最も高く、次いで「教育」が13.2%の順となっている。短期大学では「教育」が57.4%で最も高く、次いで「社会」が30.0%の順となっている。

(3) 入学者数（正規の課程）

正規の課程の入学者数は大学1万5千人（男子7千人，女子8千人），大学院1千3百人（男子8百人，女子5百人），短期大学4千人（男子1千人，女子3千人）で，前年度より大学は1千2百人，短期大学は2百人それぞれ増加し，大学院はほぼ同数となっている。

表13 学校数，学生数，入学者数及び教員数（本務者）の推移
（大学・大学院・短期大学〔通信教育〕）

区分	大 学					大 学 院				
	学校数	学生数	うち正規 の課程	入学者数	教員数 (本務者)	学校数	学生数	うち正規 の課程	入学者数	教員数 (本務者)
平成12	校	人	人	人	人	校	人	人	人	人
	20	219,711	175,898	15,591	143	4	763	747	388	10
17	35	246,029	200,393	14,090	350	19	9,634	3,330	1,228	63
18	36	245,167	198,483	13,896	370	19	9,483	3,521	1,235	68
19	40	240,076	193,573	12,978	458	23	8,820	3,628	1,288	72
20	41	229,734	185,719	11,452	493	25	8,649	3,793	1,344	88
21	42	226,384	180,636	14,251	644	26	8,437	3,796	1,276	111
22	44	224,598	177,920	15,446	725	26	8,429	3,760	1,268	151

区分	短 期 大 学				
	学校数	学生数	うち正規 の課程	入学者数	教員数 (本務者)
平成12	校	人	人	人	人
	10	28,108	26,622	5,285	32
17	9	28,424	26,773	5,842	45
18	8	28,456	26,929	5,532	31
19	9	25,227	23,796	4,375	34
20	10	22,622	21,130	3,560	39
21	11	21,164	19,479	4,029	40
22	11	19,588	17,907	4,236	31

(注) 大学及び大学院の「学校数」には，大学と大学院を併置する学校がそれぞれ含まれている。

[卒業後の状況調査]

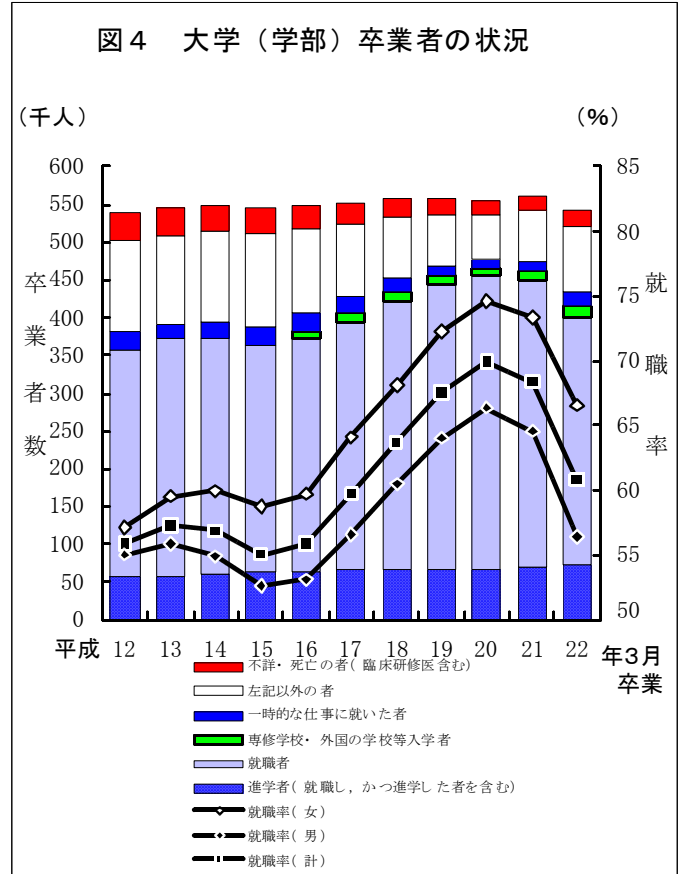
1 大学（学部）卒業者（図4、図5、表14）

(1) 卒業者数

平成22年3月に大学（学部）を卒業した者（年度途中の卒業者を含む。以下同じ。）は、54万1千人（男子30万7千人、女子23万4千人）で前年度より1万8千人減少している。これを設置者別にみると、国立10万1千人（前年より2千1百人減）、公立2万5千人（5百人増）、私立41万5千人（1万7千人減）となっている。

(2) 卒業者の状況

卒業者を状況別にみると、「大学院等への進学者」（就職し、かつ進学した者を含む。）7万3千人（全卒業者数の13.4%）「就職者」（就職し、かつ進学した者を除く。）32万9千人（同60.8%）、「臨床研修医」（予定者を含む。以下同じ。）9千人（同1.6%）、「専修学校・外国の学校等入学者」1万3千人（同2.5%）、「一時的な仕事に就いた者」1万9千人（同3.6%）、「左記以外の者」8万7千人（同16.1%）、「不詳・死亡の者」1万1千人（同2.0%）となっている。



ア. 進学状況

- ① 大学院等への進学者数は7万3千人（男子5万5千人、女子1万8千人）で、前年より4千人増加している。
- ② 進学率（卒業者のうち大学院等への進学者及び就職し、かつ進学した者の占める比率。以下同じ。）は13.4%（男子17.8%、女子7.7%）で、前年より1.2ポイント上昇している。

イ. 就職状況

- ① 就職者総数（「大学院等進学者のうち就職している者」を加えた全就職者数。以下同じ。）は、32万9千人（男子17万3千人、女子15万6千人）で、前年より5万4千人減少している。
- ② 就職率（卒業者数のうち就職者総数の占める比率。以下同じ。）は、60.8%（男子56.4%、女子66.6%）で、前年より7.6ポイント低下している。
- ③ 就職率を関係学科別にみると、「家政」が73.1%で最も高く、次いで「教育」70.1%、「社会科学」68.5%等の順となっている。
- ④ 就職者総数を産業別にみると、「卸売業、小売業」が16.4%で最も高く、次いで「製造業」12.6%、「医療、福祉」12.2%、「金融業、保険業」9.8%等の順となっている。

また、男女別にみると、男子は「卸売業、小売業」17.4%、「製造業」15.9%、「情報通信業」8.8%等の順となっており、女子は「医療、福祉」18.9%、「卸売業、小売業」15.3%、「金融業、保険業」11.8%等の順となっている。

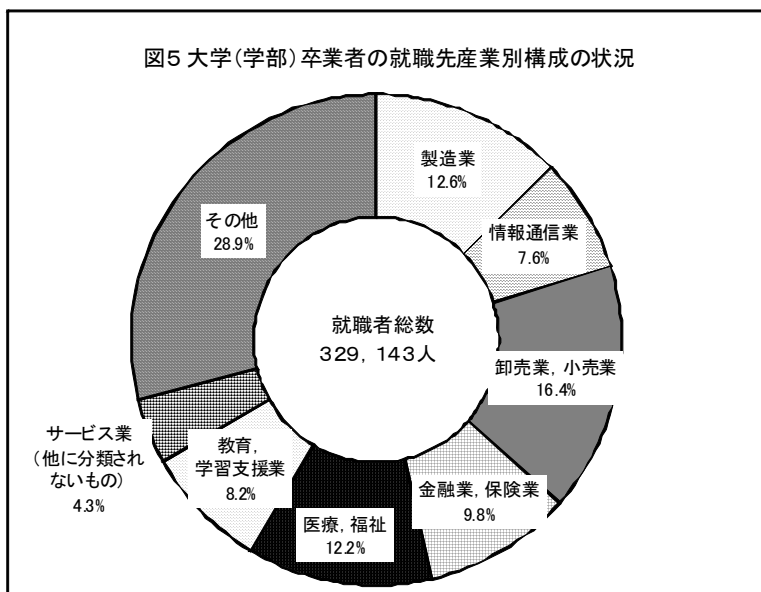
⑤ 就職者総数を職業別にみると、「専門的・技術的職業従事者」が33.9%（うち技術者13.3%、教員6.0%等）で最も高く、次いで「事務従事者」32.4%、「販売従事者」21.0%等の順となっている。

また、男女別にみると、男子は「専門的・技術的職業従事者」32.2%（うち技術者20.2%、教員4.0%等）、「事務従事者」29.0%、「販売従事者」24.2%等の順となっており、女子は「事務従事者」36.2%、「専門的・技術的職業従事者」35.9%（うち保健医療従事者13.1%、教員8.2%、技術者5.6%等）、「販売従事者」17.5%等の順となっている。

表14 状況別卒業生の推移（大学[学部]）

区分	計 (a)	進学者 (b)	就職者 (c)	臨床 研修医 (予定者 を含む)	専修学 校・ 外国の学 校 等入学者	一時的な 仕事に 就いた者	左記以外 の者	不詳・死 亡の 者	(再掲)左記 「進学者」の うち就職して いる者(d)	進学率 b/a ×100	就職率 (c+d)/a×100		
											計	男	女
平成12年	538,683	57,663	300,687	5,929	...	22,633	121,083	30,688	31	10.7	55.8	55.0	57.1
17	551,016	66,108	329,045	7,903	12,061	19,507	97,994	18,398	80	12.0	59.7	56.6	64.1
18	558,184	67,298	355,778	9,293	12,039	16,659	82,009	15,108	42	12.1	63.7	60.5	68.1
19	559,090	67,175	377,734	9,105	9,990	13,287	69,296	12,503	42	12.0	67.6	64.0	72.3
20	555,690	67,372	388,417	8,851	8,971	11,485	59,791	10,803	63	12.1	69.9	66.4	74.6
21	559,539	68,422	382,434	9,051	9,843	12,991	67,894	8,904	51	12.2	68.4	64.6	73.4
22	541,111	72,503	329,085	8,831	13,469	19,312	87,085	10,826	58	13.4	60.8	56.4	66.6

(注) 1 「進学者」とは、大学院研究科、大学学部、短期大学本科、大学・短期大学の専攻科・別科へ入学した者である。
 2 「左記以外の者」とは、家事の手伝いなど就職でも「大学院等への進学者」や「専修学校・外国の学校等入学者」等でもないことが明らかなる者である。



2 大学院修了者（図6，図7，図8）

（1）修了者数

平成22年3月に大学院の修士課程を修了した者は、7万3千人（男子5万1千人，女子2万2千人）で前年より、5百人減少している。博士課程を修了した者（所定の単位を修得し，学位を取得せずに満期退学した者を含む。以下同じ。）は1万6千人（男子1万1千人，女子4千人）で前年より7百人減少している。また，専門職学位課程を修了した者は，8千7百人（男子6千3百人，女子2千4百人）で，前年より4百人増加している。

これを設置者別にみると，修士課程では国立4万2千人（修了者の57.3%），公立4千人（同6.0%），私立2万7千人（同36.7%）となっており，博士課程では国立1万1千人（修了者の72.1%），公立9百人（同5.7%），私立3千5百人（同22.2%）となっている。また，専門職学位課程では，国立3千人（修了者の33.9%），公立3百人（同3.2%）私立5千4百人（同62.8%）となっている。

（2）修了者の状況

ア．修士課程

修了者の状況別内訳は，「大学院等への進学者」9千人（修了者の11.6%），「就職者」（就職し，かつ進学した者を除く。）5万2千人（同71.2%），「左記以外の者」9千人（同11.8%），「不詳・死亡の者」2千人（同3.1%）となっている。

- ① 進学率は11.6%（男子11.4%，女子12.0%）で，前年より0.8ポイント上昇している。
- ② 就職率は71.5%（男子76.1%，女子60.9%）で，前年より3.3ポイント低下している。
- ③ 就職者総数を産業別にみると，「製造業」が40.6%と最も高く，次いで「情報通信業」10.1%，「教育，学習支援業」9.9%，「医療，福祉」6.6%等の順となっている。
- ④ 就職者総数を職業別にみると，「専門的・技術的職業従事者」が78.2%（うち技術者54.3%，教員7.7%，科学研究者5.0%等）で最も高く，次いで「事務従事者」12.8%，「販売従事者」2.7%等の順となっている。

イ．博士課程

修了者の状況別内訳は，「就職者」（就職し，かつ進学した者を除く。）1万人（修了者の61.8%），「左記以外の者」3千人（同20.0%），「不詳・死亡の者」2千人（同9.8%）等となっている。

- ① 就職率は62.0%（男子65.4%，女子53.5%）で，前年より2.3ポイント低下している。
- ② 就職者総数を産業別にみると，「教育，学習支援業」が36.2%で最も高く，次いで「医療，福祉」23.3%，「製造業」15.2%等の順となっている。
- ③ 就職者総数を職業別にみると，「教員」26.5%，「科学研究者」24.7%，「医師，歯科医師，獣医師，薬剤師」21.7%，「技術者」15.4%等「専門的・技術的職業従事者」が93.0%を占めている。

ウ．専門職学位課程

修了者の状況別内訳は，「就職者」（就職し，かつ進学した者を除く。）3千人（修了者の34.5%），「左記以外の者」4千7百人（同54.3%），「不詳・死亡の者」6百人（同7.1%）等となっている。

- ① 就職率は34.8%（男子36.1%，女子31.2%）で，前年より4.3ポイント上昇している。
- ② 就職者総数を産業別にみると，「教育，学習支援業」が19.0%と最も高く，次いで「製造業」16.4%，「学術研究，専門・技術サービス業」8.7%等の順となっている。
- ③ 就職者総数を職業別にみると，「事務従事者」が42.3%と最も高く，次いで「専門的・技術的職業従事者」35.7%（うち教員16.9%，技術者7.4%等），「管理的職業従事者」10.0%等の順となっている。

図6 大学院（修士課程）修了者の状況

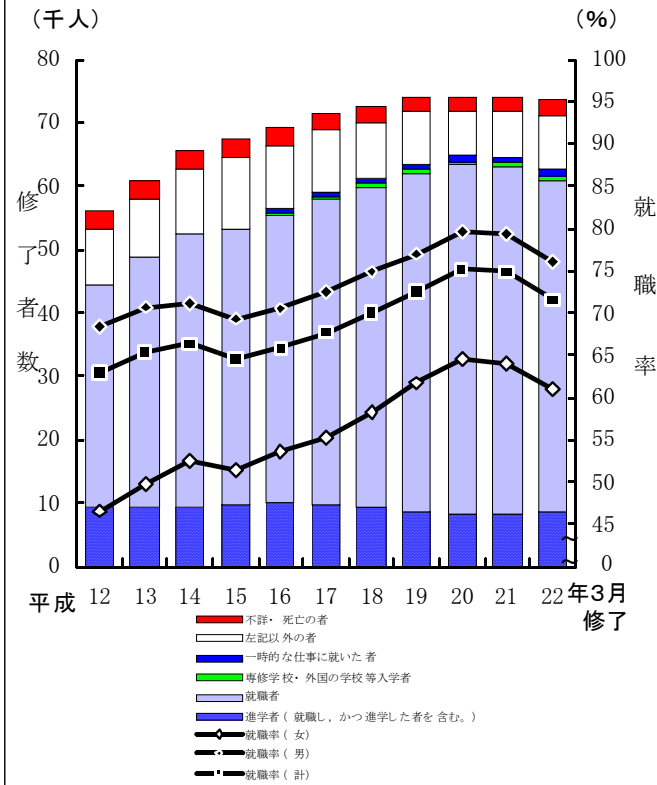


図7 大学院（博士課程）修了者の状況

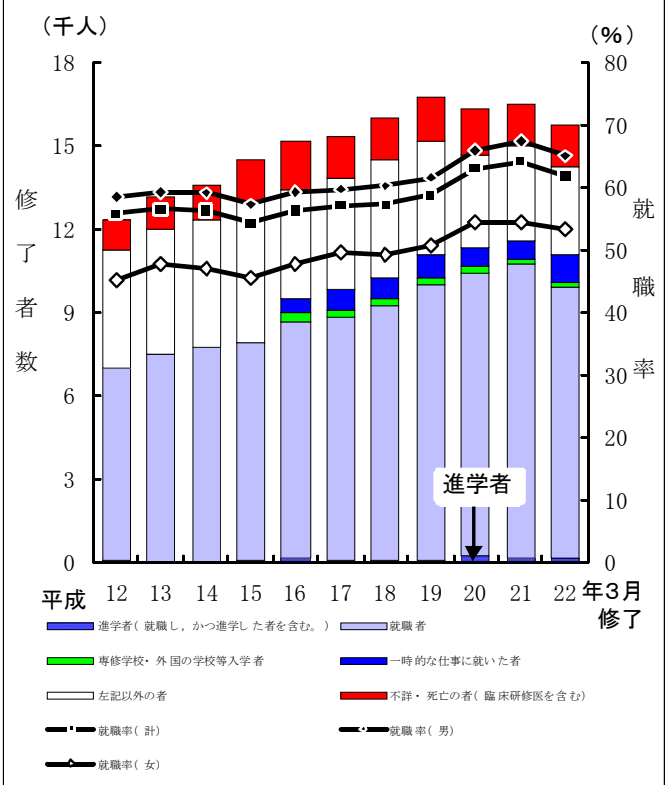
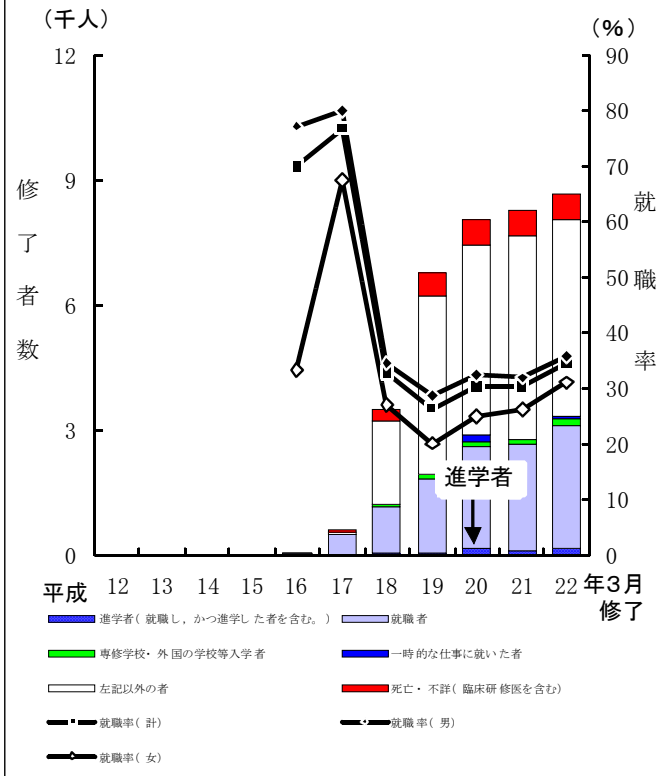


図8 大学院（専門職学位課程）修了者の状況



3 短期大学卒業生（図9、図10、表15）

(1) 卒業生数

平成22年3月に短期大学（本科）を卒業した者は7万1千人（男子7千人，女子6万4千人）で，前年より7千人減少している。

これを設置者別にみると，公立4千人（前年より4百人減），私立6万6千人（前年より7千人減）となっている。

(2) 卒業生の状況

卒業生の状況別内訳は，「大学等への進学者」（就職し，かつ進学した者を含む。以下同じ。）8千人（全卒業生の11.8%），「就職者」（就職し，かつ進学した者を除く。）4万6千人（同65.2%），「専修学校・外国の学校等入学者」1千7百人（同2.4%），「一時的な仕事に就いた者」3千9百人（同5.5%），「左記以外の者」1万人（同14.1%），「不詳・死亡の者」7百人（同1.0%）となっている。

ア. 進学状況

- ① 大学等への進学者数は8千4百人（男子1千9百人，女子6千5百人）で，前年より6百人減少している。
- ② 進学率（卒業者のうち大学等への進学者及び就職し，かつ進学した者の占める比率。以下同じ。）は11.8%（男子27.4%，女子10.1%）で，前年より0.3ポイント上昇している。

イ. 就職状況

- ① 就職者総数（「大学等への進学者のうち就職している者」を加えた全就職者数。以下同じ。）は4万6千人（男子3千人，女子4万3千人）で，前年より9千人減少している。
- ② 就職率（卒業者のうち就職者及び就職し，かつ進学した者の占める比率。以下同じ。）は65.2%（男子47.6%，女子67.1%）で，前年より4.7ポイント低下している。
- ③ 就職率を関係学科別にみると，「保健」が83.1%で最も高く，次いで「教育」が81.1%，「社会」64.9%等の順となっている。
- ④ 就職者総数を産業別にみると，「医療，福祉」が45.4%で最も高く，次いで「教育，学習支援業」13.6%，「卸売業，小売業」12.0%等の順となっている。
- ⑤ 就職者総数を職業別にみると，「専門的・技術的職業従事者」60.6%（うち保健医療従事者17.3%，教員11.6%等）で最も高く，次いで「事務従事者」19.0%，「販売従事者」9.6%等の順となっている。

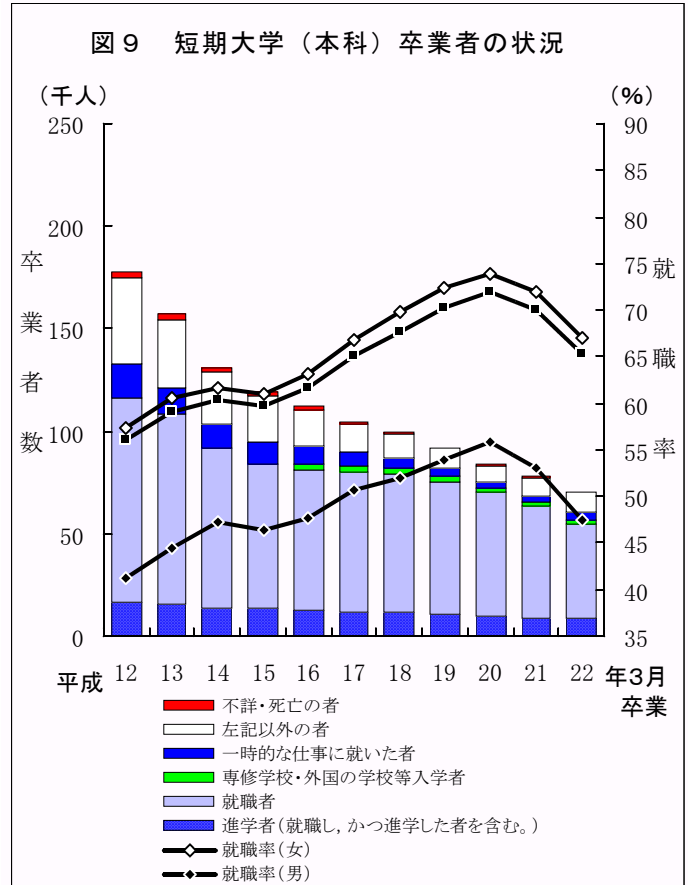
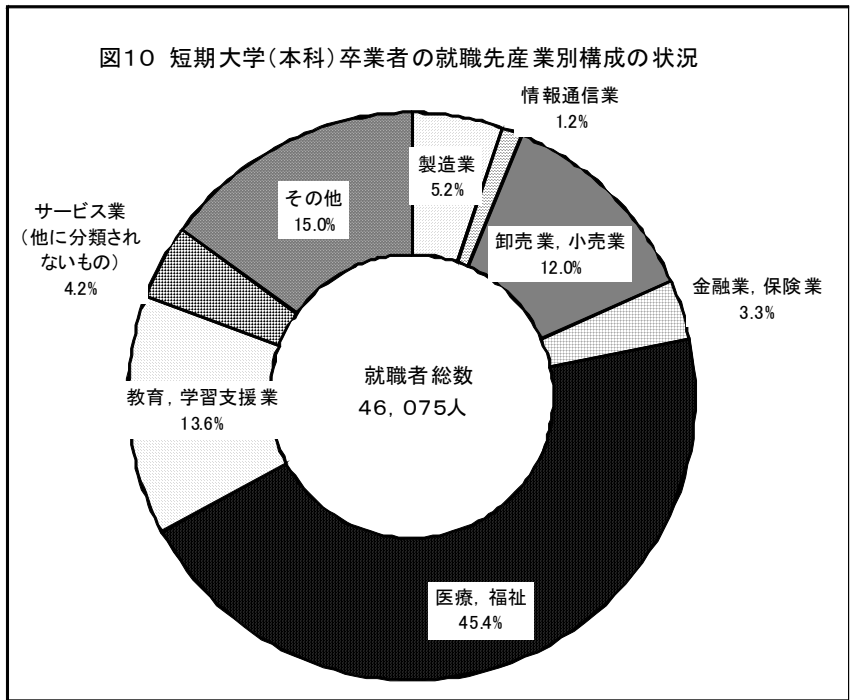


表 1 5 状況別卒業生の推移（短期大学[本科]）

区 分	計 (a)	進学者 (b)	就職者 (c)	専修学校・ 外国の学校 等入学者	一時的な 仕事に 就いた者	左記以外 の者	不詳・ 死亡の者	(再掲) 左記 「進学者」の うち就職して いる者(d)	進学率 b/a ×100	就職率 (c+d)/a×100		
										計	男	女
平成12年	人	人	人	人	人	人	人	人	%	%	%	%
17	177,909	16,807	99,641	…	16,217	41,704	3,540	12	9.4	56.0	41.3	57.4
18	104,621	12,043	68,023	2,990	6,655	13,829	1,081	12	11.5	65.0	50.6	66.8
19	99,611	11,678	67,476	2,579	5,177	11,899	802	4	11.7	67.7	52.1	69.8
20	92,100	11,026	64,623	2,120	4,285	9,452	594	—	12.0	70.2	54.0	72.3
21	83,900	9,525	60,413	1,853	3,215	8,400	494	1	11.4	72.0	55.9	74.0
22	78,056	9,005	54,585	1,553	3,450	9,037	426	2	11.5	69.9	53.1	71.9
22	70,644	8,351	46,074	1,718	3,875	9,935	691	1	11.8	65.2	47.6	67.1

(注) 1 「進学者」とは、大学学部、短期大学本科、大学・短期大学の専攻科・別科へ入学した者である。
 2 「左記以外の者」とは、家事の手伝いなど就職でも「大学院等への進学者」や「専修学校・外国の学校等入学者」等でもないことが
 明らかなる者である。



4 高等専門学校卒業生（図11，表16）

(1) 卒業生数

平成22年3月に高等専門学校を卒業した者は1万人（男子8千5百人，女子1千6百人）で，前年より3百人減少している。

これを設置者別にみると，国立9千人，公立7百人，私立4百人となっている。

(2) 卒業生の状況

卒業生の状況別内訳は「大学等への進学者」4千5百人（全卒業生数の44.5%），「就職者」（就職し，かつ進学した者を除く。）5千2百人（同51.5%），「左記以外の者」2百人（同2.4%）等となっている。

ア. 進学状況

- ① 大学等への進学者数は4千5百人（男子4千人，女子5百人）で，前年とほぼ同数となっている。
- ② 進学率は，44.5%（男子47.1%，女子30.6%）で，前年より1.5ポイント上昇している。

イ. 就職状況

- ① 就職者総数（「大学等への進学者のうち就職している者」を加えた全就職者数。以下同じ）は5千2百人（男子4千2百人，女子1千人）で，前年より4百人減少している。
- ② 就職率（卒業生のうち就職者及び就職し，かつ進学した者の占める比率。）は51.5%（男子49.2%，女子63.9%）で，前年より2.1ポイント低下している。
- ③ 就職者総数を産業別にみると，「製造業」が49.9%と最も高く，次いで「情報通信業」11.9%，「電気・ガス・熱供給・水道業」9.5%，「建設業」8.5%等の順となっている。
- ④ 就職者総数を職業別にみると，「専門的・技術的職業従事者」91.5%（うち技術者91.2%等）が最も高く，次いで「運輸・通信従事者」3.4%，「サービス職業従事者」2.1%等の順となっている。

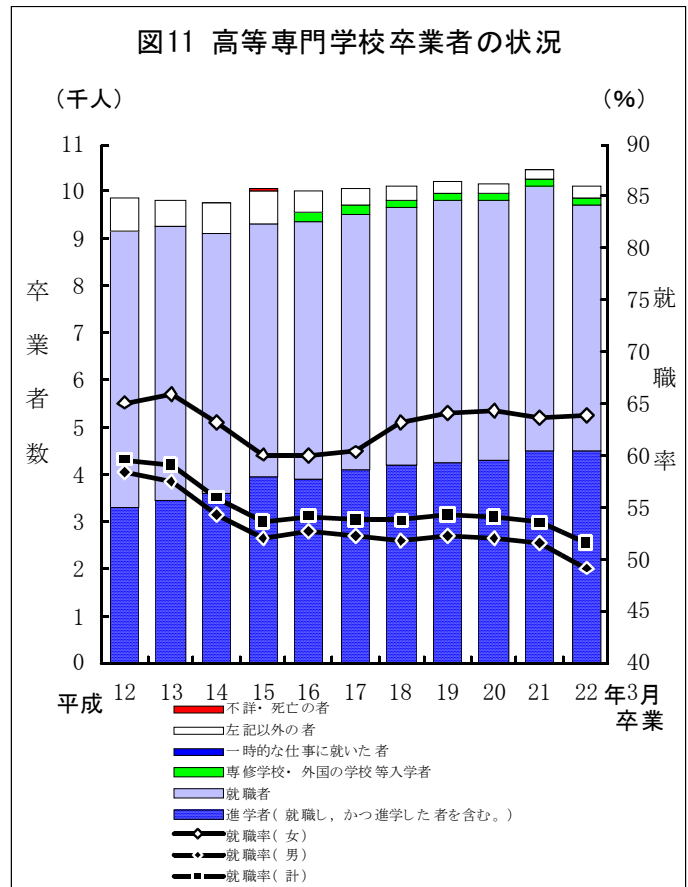


表 1 6 状況別卒業者の推移（高等専門学校）

区 分	計 (a)	大学等へ の進学者 (b)	就職者 (c)	専修学 校・ 外国の学 校 等入学者	一時的な 仕事に 就いた者	左記以外 の者	不詳・死 亡 の者	(再掲) 左記 「進学者」の うち就職して いる者(d)	進学率 (b/a) ×100	就職率 (c+d)/a ×100
	人	人	人	人	人	人	人	人	%	%
平成12	9,849	3,306	5,878	…	…	664	1	1	33.6	59.7
17	10,061	4,113	5,413	192	6	337	—	2	40.9	53.8
18	10,140	4,201	5,455	174	2	308	—	2	41.4	53.8
19	10,207	4,252	5,546	159	5	244	1	—	41.7	54.3
20	10,160	4,316	5,501	146	2	195	—	1	42.5	54.2
21	10,474	4,504	5,610	155	9	195	1	—	43.0	53.6
22	10,126	4,506	5,219	155	5	241	—	—	44.5	51.5

(注) 1 「大学等への進学者」とは、大学学部、短期大学本科、大学・短期大学の専攻科・別科へ進学した者である。

2 「左記以外の者」とは、家事の手伝いなど就職でも「大学院等への進学者」や「専修学校・外国の学校等入学者」等でもないことが明らかな者である。